

## アートの力

清水希容子

財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

絵画、彫刻やオブジェなど作品個々を、狭義には「アート」という。美術館の中に展示された作品の前にじっと立止まり鑑賞するというスタイルが一般的だった。それが最近では、佐倉市の川村記念美術館のように、美しい庭園風景に溶け込む作品、豊田市美術館のように美術館自体の設計が生み出す空間と一体となった作品、仙台市や立川市にあるように、まちの大通りに飛び出した作品など、アートが納まる領域は従来の枠をはみ出している。ヴェネチア・ビエンナーレを範として、わが国でも2000年以降「越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭」や「中之条ビエンナーレ」など、地域一円をアートの画材に見立てた「芸術祭」が広がりはじめた（地図参照）。

今夏から秋にかけて、瀬戸内海に浮かぶ島々を舞台とした「瀬戸内国際芸術祭」が初めて開催され、その会場である人口約3千人の直島は、10年以上の取組により「アートのしま」として再生され、世界中から人々が訪れるようになった。ここには、現代アートのユニークな有名アーティストの作品が島中に点在する。それらを、近代的な地中美術館、野外、潮の香りのする古い街並みなど様々なシーンで鑑賞することができる。芸術祭では、国籍、世代、思想や背景の異なる人々が、島の中で出会い、知らないお互い同士言葉を交わさなくとも、同じアートを囲んで、色、光やデザインのシャワーを浴び包まれながら、自由にいろいろな力を感じている。

アートが、その時々自分自身を映し出し、忘れていた何かを気づかせてくれるお気に入りになり、何度も足を運ぶ人もいる。ただ、美しさや驚きを楽しむ人もいる。作品をながめるだけでなく、野外オブジェを撮影し、自ら一流の写真家気取りを楽しむ人もいる。青森県田舎館村では五色の稲で「田んぼ

アート」を描く。水や空気のように人を選ばず場所を選ばない不思議な“力”が、アートという文化には備わっている。

まちづくりや地域づくりにも、アートは生きている。スポーツの応援風景、開会・閉会のセレモニー、コンサートホールの舞台を飾る花、祭りの衣装、花火が夜空につくる絵模様、フルーツパフェの彩りやデコレーションなどの美は、地域アイデンティティを上手に表現し、一体感や参加意識を自然と高める。気がつけば、自らまちづくりのイベントにかかわるアーティストになっている。アートには、正解や要領は必要ない。一見余計に見えるが、アートに備わる自由に伝える力は人々を動かし、楽しませようとする工夫は、まちの個性や創造性をくすぐる源となる。

今回取材した直島の本村地区は、過疎化・高齢化が進んでいる地域である。地元住民だけでは維持することが困難となった貴重な民家や寺の跡地を、有名アーティストらの手を借りながら再生し「アート」として人々の前に再登場させることで、同時に地域の歴史や伝統を守っている。狭い島の中に、複数の作品が集落に点在しているため、訪れる人は、普段着のまちの暮らしを見歩きながら、作品も鑑賞できる楽しみがある。

7年前、埼玉県から直島に移り住んできた大塚リ子さんは、この地では初めての「カフェまるや」を開いた。彼女は、「路地が細くて全体的に良くまとまっている。小さな隙間から、暮らしの情景が可愛らしくのぞいている。こんな素敵なまちで暮らし、アートとかかわり続けていきたい。」と語ってくれた。地元住民に宿ったアートな心が、暮らしのキャンパスの上に明るい未来を描いていく。



直島のアート作品  
草間彌生「赤かぼちゃ」2006年直島・宮浦港緑地

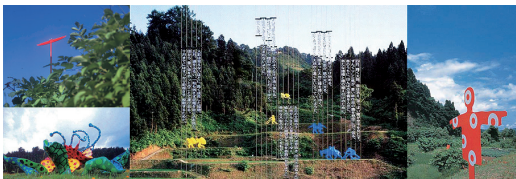
# 芸術祭

数字は開始年



直島本村港のまちなみ

越後妻有アートトリエンナーレ 2000



田中信太郎「○△□の塔と赤とんぼ」、草間彌生「花咲ける妻有」、  
イリヤ&エミリア・カバコフ「棚田」、クリス・マシューズ「中里かかしの庭」  
photo by S.ANZAI

- 神戸ビエンナーレ 2007
- 姫路城・現代美術ビエンナーレ 2008
- 丹波篠山まちなみアートフェスティバル 2009
- 西宮船坂ビエンナーレ 2010

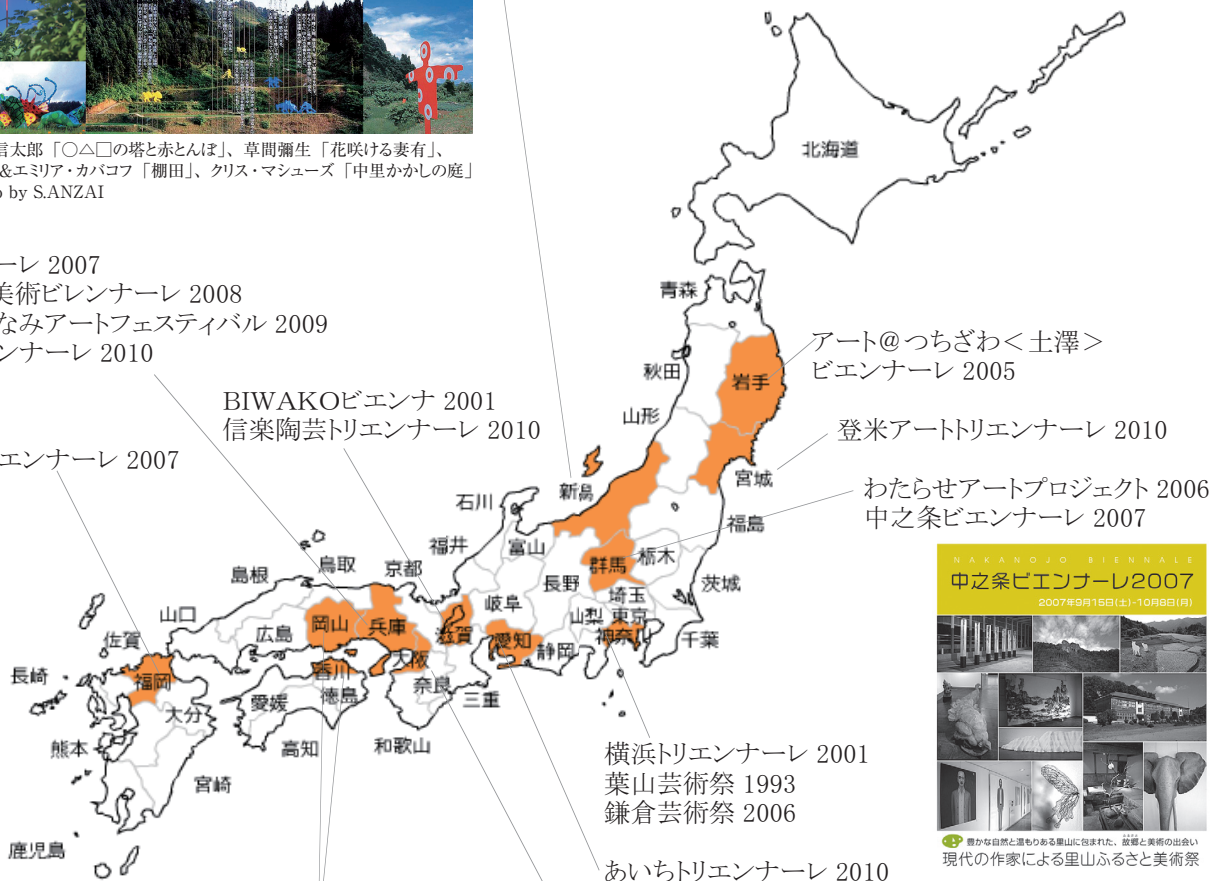
北九州国際ビエンナーレ 2007

BIWAKOビエンナ 2001  
信楽陶芸トリエンナーレ 2010

アート@つちざわく土澤>  
ビエンナーレ 2005

登米アートトリエンナーレ 2010

わたらせアートプロジェクト 2006  
中之条ビエンナーレ 2007



横浜トリエンナーレ 2001  
葉山芸術祭 1993  
鎌倉芸術祭 2006

あいちトリエンナーレ 2010

瀬戸内国際芸術祭 2010

堂島リバービエンナーレ 2009  
道頓堀芸術祭 2010



\*ビエンナーレとは2年ごと、  
トリエンナーレとは3年ごとに  
開かれる国際美術展覧会

(財)日本経済研究所にて作成

